



舟川新地区【春の四重奏】

富山県
舟川新地区

ふながわしん

農事組合法人ふながわ、有限会社チユリストやまざき

美しい景観を生かした地域振興が事業を機に発展 交流人口や農産物販売の拡大で賑わいを呼び込む

花々と雪山のコントラストが鮮やかな
「春の四重奏」を目当てに5万人が来訪

富山県東部の朝日町にある舟川新地区は、北アルプスの山々が間近にそびえる地域です。本地区では、「春の四重奏」と名付けた美しい景観を活用して地域活性化に取り組んでいます。これは残雪の朝日岳を「白色」の背景とし、桜の「桃色」、チユリップの「赤色」、菜の花の「黄色」が織りなす色鮮やかな景色のことで、桜、チユリップ、菜の花の開花時期である春には、2週間で約5万人もの観光客が訪れる一大名所となっています。

もともと舟川新地区は、明治時代に全国に先駆けて耕地整理を行うなど、住民の農業に対する意欲が高い地域です。しかし整備から100年近くが経った現代において、当時整備した10aのは場では農作業にかかる労力が大きく、土水路ゆへの用水不足も生じていました。また後継者不足も懸念され、個別経営のままでは地域農業の維持発展が難しい状況でした。

そこで生産性の高い農業への転換を目指し、平成23年度から30年度にかけて県営農地整備事業を実施。ほ場を1haの区画へ再整備するとともに、排水路を暗渠

化し、大型機械の導入が可能となるターン農道を整備して、農作業の効率化を図りました。これにより、事業完了後の令和元年には、水稲の生産コストが平成28年に比べて約60%も削減されました。

加えて、個別農家が入り組んで営農していた農地を集約化。事業計画を機に立ち上げた集落営農組織「農事組合法人ふながわ」が主に水稲を、「有限会社チユリストやまざき」が水稲と園芸作物を生産することとし、地区内で役割分担をした結果、現在では農地の94%が担い手に集積されています。

大区画化した農地での営農効率をさらに高めるため、ふながわではGPS付き田植え機の導入や無人ヘリコプターによる防除作業の外部委託を行っているます。整備事業を契機に飼料用米の作付も開始し、主食用米の作付時期とずらしながら計画的な営農を実践して、収量の増加を実現。日本飼料用米振興協会による「飼料用米多収日本一（単位収量の部）」で、令和元年と2年に受賞を果たしています。

地域資源を生かした特産品を販売
田んぼアートやイルミネーションも実施

整備事業の実施により、「春の四重奏」を軸とした

位置図



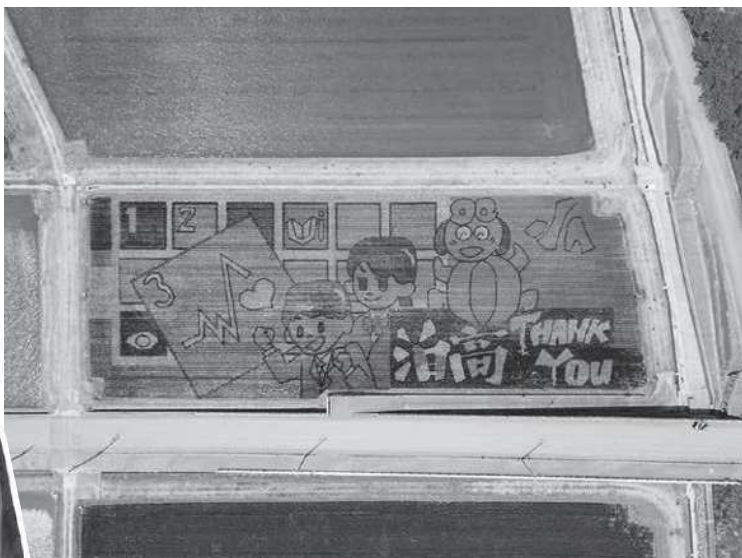
富山県 舟川新地区



▲無人ヘリによる
防除作業



ブランド米も▶
販売



▲田んぼアート

地域振興はますます活発化しました。大区画化したほ場に菜の花をまとめて植栽できるようになり、畦畔も減少したことで、色のコントラストがより鮮やかに。魅力を増した景観を中心として地区の農村環境や地域資源を守っていくという機運が一層高まり、平成29年にはチュリップやまざきが中心となって「春の四重奏実行委員会」を設立しました。委員会は朝日町や商工会、町内会、観光協会などで構成され、地域一体となった推進体制が整備されたことで、地区の魅力を発信する多様な活動が展開されています。

「春の四重奏」の終了後に収穫された菜種を活用してなたね油を製造・販売したり、地区で生産された米を「春の四重奏」チュリップ農家のコシヒカリ」としてブランド化を図っているのは、その一例です。これらの商品は東京のアンテナショップ「日本橋とやま館」で販売したり、ふるさと納税の返礼品として取り扱われたりと、着実に販路を拡大しています。

さらには春だけでなく、年間を通じて観光客を呼び込むため、夏は地域の子供たちと製作した田んぼアート、秋はヒガンバナの植栽、冬は桜並木のイルミネーションを実施し、四季を通して地区の魅力を発信しています。

景観保全や農地の維持管理には 非農家の住民も積極的に参加

これらの取り組みにより、交流人口や農産物の販売機会が拡大。相乗効果で地域全体を盛り上げています。「春の四重奏」の来場者数は、事業前に比べて2.5倍以上に増加しました。

景観保全や農地の維持管理活動は地域ぐるみで行わ

れ、農家だけでなく、非農家の住民も積極的に参加しています。今後も儲かる農業を実践しつつ、世界に誇れる景観作りを継続することで、地域住民のやりがいや地元への愛着を醸成し、より活力ある農業・農村の実現を目指します。



チュリップ花摘み隊

事業概要

事業主体	富山県
事業名	県営農地整備事業（経営体育成型）
工期	平成23年度～平成30年度
受益面積	64.7ha 〔水田 63.3ha（うち汎用化 63.3ha）〕
受益戸数	119戸
標準区画規模	事業実施前 10a → 完了後 100a（1ha）
1ha以上の区画合計面積	事業実施前 0ha → 完了後 19.8ha
主要工事	区画整理、用排水路工、客土工
関係土地改良区	朝日町土地改良区
関係市町村	朝日町